

授業科目名	教育原理	担当教員名	吉田 直哉
科目区分	教職・保育に関する科目	施行規則に定める科目区分 等	教育の基礎理解に関する科目-教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想 / 保育の内容・方法に関する科目
必修・選択/単位数	必修 / 2単位 (30時間)	授業方法/担当形態	講義 / 単独
開講学年/学期	後期 (3-4期) / 年間開講数 2講座	特記事項	
授業の概要及び全体目標	教育の意義、目的について理解する。教育の思想と歴史的変遷について学び、教育に関する基礎的な理念・思想・理論・制度について理解する。教育実践のさまざまな取り組みや、生涯学習社会における教育の現状と課題について理解する。		
到達目標	教育の意義、思想、制度、実践理論などについて、包括的に解説し、幼児教育者として、現在の教育の問題点について、自分なりに考察できるようになる。		
テキスト	「コンパクト版保育者養成シリーズ・教育原理」石橋哲成編著（一藝社）		
参考書・参考資料等	「平成29年告示 幼稚園教育要領 保育所保育指針 幼保連携型認定こども園教育・保育要領 原本」（株式会社チャイルド本社）		
成績評価の方法	授業へのコミットメント 10%、提出物(小レポート) 30%、期末レポート 60%		
授業外（事前・事後）学習の方法、オフィスアワー等	各回の教科書の該当章を読解する。 質問等は、授業前後の時間帯、および電子メールにて受け付ける。		
授業計画	授業の内容	到達目標番号	
第1回	イントロダクション・教育学と人間学の諸概念	(1)-①,(3)-①	
第2回	教育の目的・意義に関する理念	(1)-①,(1)-②,(3)-①	
第3回	人間の成長・発達	(1)-①,(1)-②,(2)-①	
第4回	子ども観と教育観、教師-子どもの教育関係	(1)-②,(2)-①,(3)-①	
第5回	教育内容とカリキュラム：学習指導要領	(3)-②	
第6回	教育評価	(3)-②	
第7回	学習理論と教育方法	(3)-②,(3)-③	
第8回	日本の教育法・制度	(1)-②,(2)-②	
第9回	諸外国の教育制度	(3)-③	
第10回	日本の教育史①：近世から明治・大正	(2)-①,(2)-②,(3)-③	
第11回	日本の教育史②：昭和から平成	(2)-①,(2)-②,(3)-③	
第12回	西洋の教育史①：コメニウス、ロック、ルソー	(2)-②,(3)-②,(3)-③	
第13回	西洋の教育史②：ヘルバルト、デューイ、ブルーナー	(2)-②,(3)-②,(3)-③	
第14回	現代の教職と家族・社会資源との関係	(2)-③	
第15回	現代社会における教育の課題と展望	(2)-③	